

平成 29 年度における退職報償金の支払状況

(退職報償課)

平成 29 年度における退職報償金の支払人数・支払額等について、その概要を以下に紹介します。

1 支払状況

平成 29 年度の支払人数は 42,919 人、支払額は 17,024 百万円余となっています。前年度と比較すると、支払人数で 1,673 人の減 (3.8% 減)、支払額で 502 百万円の減 (2.9% 減) と、いずれも減

少しています (図 1)。

1 人当たりの平均支払額については 397 千円となっており、前年度と比べると、4 千円の増加となっています (図 2)。最近に見られる増加傾向については、勤務年数が長期化していること (図 4 にて後述) がその要因のひとつとして考えられます。

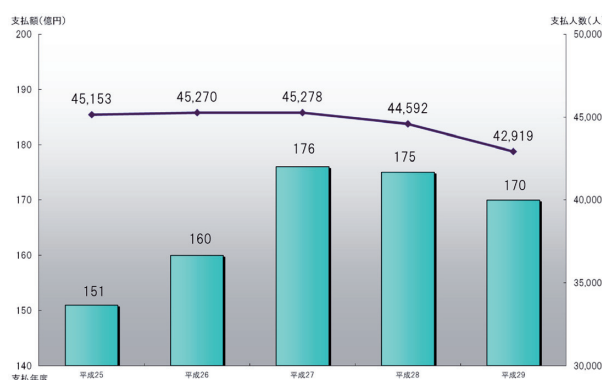


図 1 支払人数と金額 (直近 5 か年)

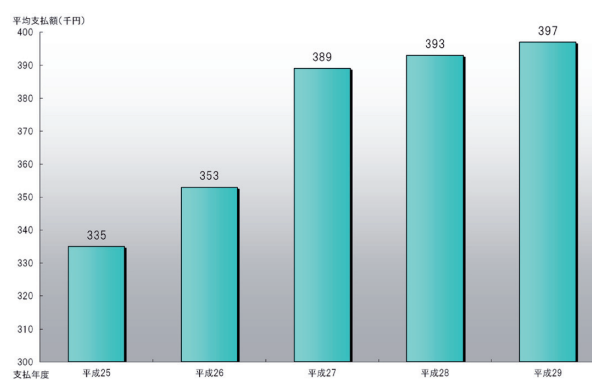


図 2 平均支払額 (最近 5 か年)

2 支払人数

支払人数について見ると、階級別では、「団員」の 14,639 人 (34.1%) が最も多く、続いて「班長」の 9,840 人 (22.9%)、「部長」の 8,485 人 (19.8%)

の順となっており、この 3 つの階級区分を合わせると全体の 76.8% を占めています (図 3)。階級別ごとの支払人数に変化はあまり見られません。

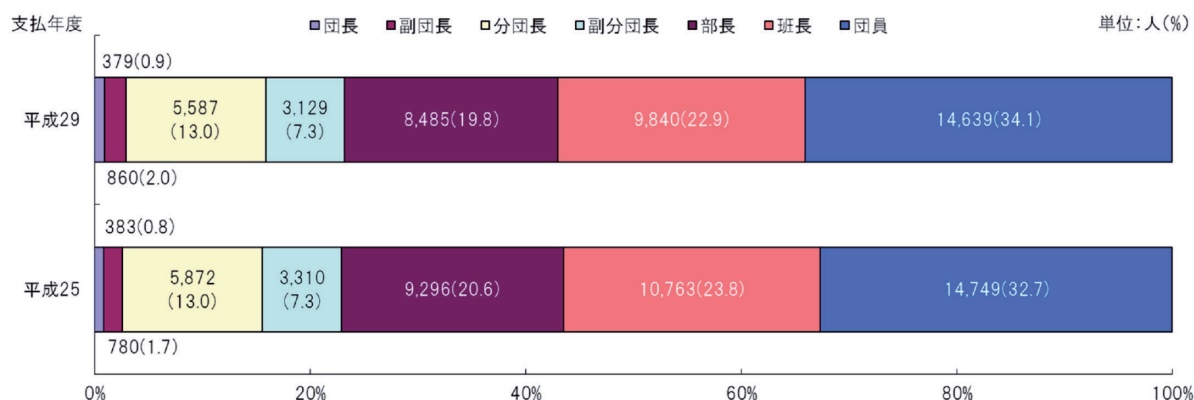


図 3 階級別支払人数

勤務年数別では、「5年以上10年未満」の10,661人(24.8%)が最も多く、続いて「10年以上15年未満」の8,938人(20.8%)、「15年以上20年未満」の7,499人(17.5%)の順となっており、この3つの勤務年数区分を合わせると全体の

63.1%を占めています(図4)。平成25年度と比べると、20年未満が減少傾向であるのに対し、20年以上は増加傾向にあり、勤務年数が長期化する傾向が見受けられます。

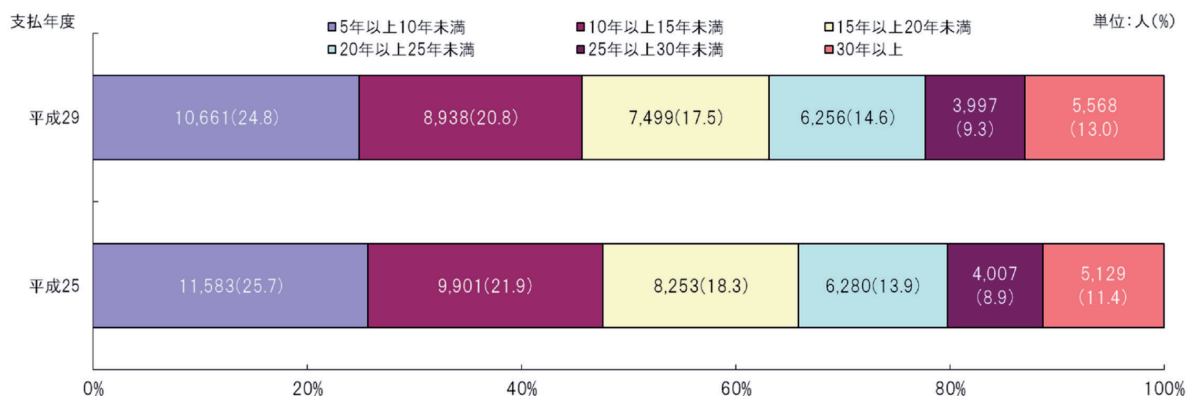


図4 勤務年数別支払人数

現年度・過年度別(注)では、「過年度退職者」の31,536人(73.5%)に対し、「現年度退職者」は11,383人(26.5%)となっています(図5)。平成

25年度と比較すると、現年度支払人数の割合は小さくなっており、過年度支払人数の割合が大きくなっています。

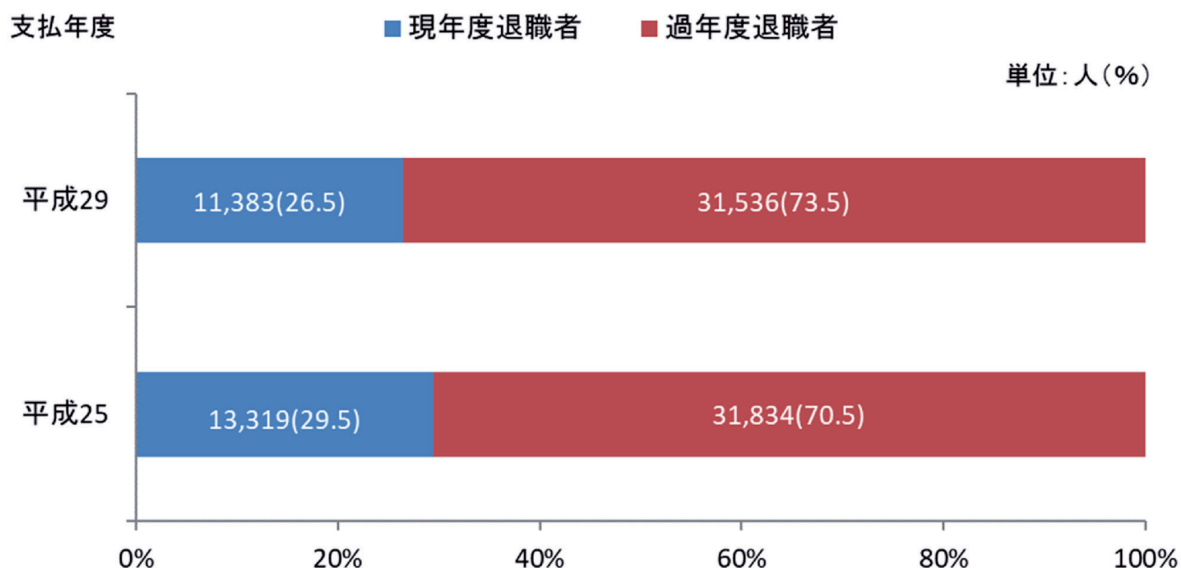


図5 現年度・過年度別支払人数(最近5か年)

3 支払額

支払額についてみると、階級別では、「団員」の4,018百万円(23.6%)が最も多く、続いて「班長」の3,635百万円(21.4%)、「部長」の3,576百万

円(21.0%)の順となっており、この3つの階級区分を合わせると全体の約3分の2を占めています(図6)。

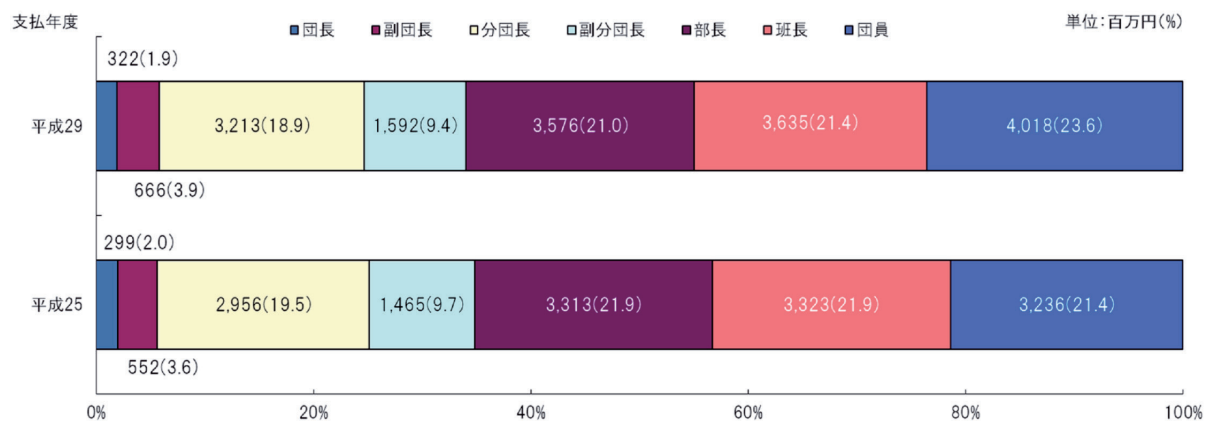


図6 階級別支払額

勤務年数別では、「30年以上」の4,479百万円(26.3%)が最も多く、続いて「20年以上25年未満」の2,824百万円(16.6%)、「15年以上20年未満」の2,711百万円(15.9%)の順となってお

り、この3つの勤務年数区分を合わせると全体の6割近くを占めています(図7)。平成25年度と比べると、30年以上の割合が増加傾向にあります。

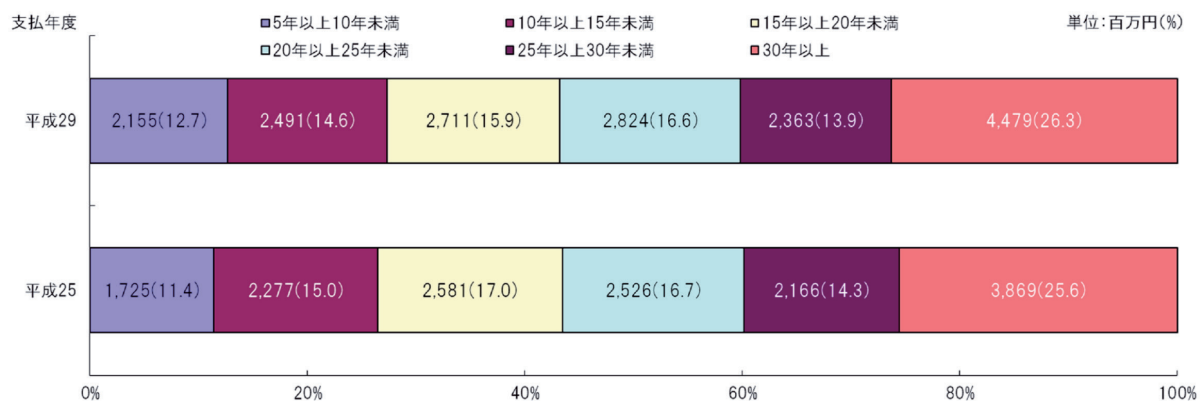


図7 勤務年数別支払額

現年度・過年度別では、「過年度退職者」の 4,500 百万円 (26.4%) となっています (図8)。
12,524 百万円 (73.6%) に対し、「現年度退職者」

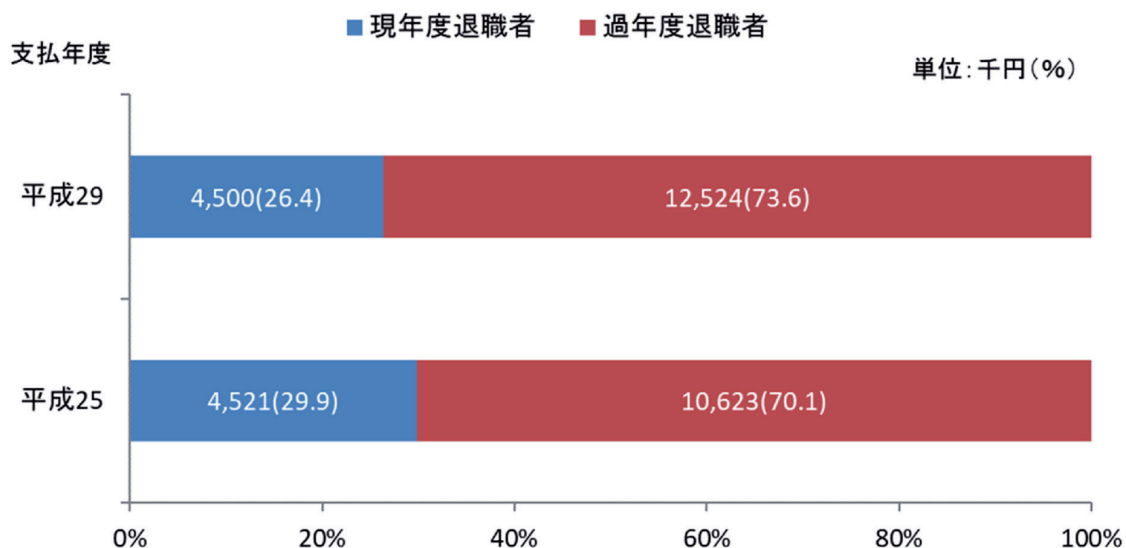


図8 現年度・過年度別支払額 (最近5か年)

注 一つの支払年度において、当該年度中に退職した者を現年度退職者といい、当該年度前に退職した者を過年度退職者といいます。